

<p>1 特殊詐欺被害防止の広報の在り方について ニセ電話詐欺被害を受けやすい、自宅に多い60歳代以上の方には、警察署の「大垣・安八の安全」の冊子やニセ電話詐欺被害防止啓発DVD等の啓発物やチラシは、目に触れる機会が少ないのではと考えます。 そこで、自宅までチラシが届く「地域安全にゆーす」を地域の方々の力を借りて、身近に感じ捉えていくことができる広報の在り方を考えていくことが重要ではないかと思えます。</p>	<p>地域の方が身近に感じてもらえる題材を考えて広報活動を行うよう努めていきます。</p>
<p>2 大垣警察署の封筒の標語について 「親子でのサインを決めて 詐欺なくせ」 「手をあげて じぶんでまもろう 命のあいず」 どのような手立て（過程）で作成されて標語掲載に至ったか教えて頂きたい。</p>	<p>封筒に記載された標語のうち詐欺被害防止に関するものは、例年全国地域安全運動期間に募集される『岐阜県防犯協会と岐阜県警察共催の標語の作品』で、令和3年の受賞作品（特殊詐欺被害防止 小学生部 金賞）となっています。 なお、封筒の標語は令和2年から、受賞作品のうち、上位の作品を掲載しているもので、被害防止広報の一環として記載しているものです。 また、交通安全に関しての標語は、令和3年交通安全年間スローガンのこども部門警察庁長官賞受賞作を当署の封筒の標語として掲載しています。</p>
<p>3 交差点の改良について 荒崎地区旧21号岐阜垂井線、荒崎小学校西の六差路交差点について、30年前から県、大垣市に改良の要望を出していますが、いまだ改良できず。大垣警察署の考えをお願いします。 事故が頻発しています。また、巻き込まれ死亡事故も発生しています。</p>	<p>信号機の設置要望がありますが、現状では脇道での車両のすれ違いが困難なため道路拡幅の必要性があります。道路構造令では6差路交差点での信号設置は認められておらず、信号設置のためには一部道路を封鎖する必要があります。また、東方に荒崎小学校南信号交差点があることから、既存信号機との距離が近いため、新たな信号機を設置するには統廃合する必要があります。</p>
<p>4 バイクの騒音について 8月20日土曜日の夜、午後10時前後に一宮線を羽島方向へ走っていくバイクの音がうるさくて思わずベランダに出て外を見ましたが、あっという間に立ち去っていきました。その後、また安八平田線を南進するバイクも聞こえてきました。</p>	<p>要望のあったバイクの騒音について、大垣一宮線や安八平田線において警ら活動とともに取締りを実施しており、令和3年には岐阜県警察本部交通指導課や交通機動隊における合同捜査本部において、集団で暴走行為をした少年数名を検挙したところ です。 バイクは機動力が高い特徴があり、その場からあっという間に立ち去るため今後もバイクの進行方向先を予測し、他署と連携した警ら活動や取締りを行います。</p>

<p>5 長良大橋のゼブラゾーンについて 以前から質問させていただいていた長良大橋上のゼブラゾーンの通行についてですが、黄色のセンターラインがひかれ対向車線にはみ出し走行する車両は少なくなりました。</p>	<p>今後もご意見をお聞きしながら、交通事故抑止のために警察本部や道路管理者と連携して必要な交通規制を実施していく予定です。</p>
<p>6 国道21号中野町河間交差点について いつ完成ですか 道路事情はどのようになりますか</p>	<p>国道21号河間交差点につきましては、本年度末に完成予定となっています。なお、交差点については現在の交差点から東方の交差点に信号機を移設し、南側の新設する道路を結ぶ交差点となります。現在の交差点は、交差点南側の道路は閉鎖され、北側道路のみ残りますが、信号機が撤去されますので、直進や右折はできず、左折のみの運用となる予定です。</p>
<p>7 規制等検討願いたい 大垣市赤坂町2148-1北側 国道417号線三叉路は、渋滞のため北進車両が交差点内で停止して塞いでしまうため、東進して国道417号線に入ることも、南進右折することもできない状況です。近くに信号もあるので混みます。 停止禁止ゾーンを設置するなどスムーズに行きかうように考えて頂きたい。</p>	<p>停止禁止規制については、緊急自動車の出入口付近（消防署等）の道路で、緊急公益性などを勘案して実施するものとなります。 ご提案のある交差点は、停止禁止規制の対象に該当しないことから規制を実施することは困難となりますのでご理解いただきたいと思います。</p>
<p>8 養老鉄道 河間踏切の交通取締りについて 河間の養老鉄道 踏切の件です 夜間暗いので土地勘のない方は、停止ができないときもあるようです。</p>	<p>養老鉄道河間踏切を管理する養老鉄道株式会社に対して、踏切を明るくするためのライトの設置や遮断機に反射材を取り付ける等の対策をしていただくように申し出を行いました。 また、夜間は視界が悪くなるため、歩行者や自転車などの発見が遅れる場合があることから、車を運転する方に対して、昼間より速度を落として慎重に運転していただくとともに、土地勘がない道路を走行する場合には、より一層の安全運転に心掛けていただくように呼びかけていきます。 なお、踏切における取締りについては、踏切内での死亡・重傷事故のような大きな事故を防止するためにも継続していきます。</p>
<p>9 一方通行逆走車両の取締り要望について 豊田モータースの車は、一方通行を逆走しているので、車に乗っててぶつかりそうになったことがある。 注意しても知らん顔して西へ出て、豊田モータース本宅と山川の間を南へ抜けます。 それと信号から南へ入ってくる。 車屋の方なのに許されると思います。 厳重な注意をして頂きたい。</p>	<p>先日に豊田モータースを訪問し、同社に対して、一方通行を逆走しているとの情報があると申し向け、指導を行いました。 今回の提言は、同社を管轄する駅前交番員にも手配を行い、今後も継続した警戒警らを実施し、法令違反が認められれば適切な対応を行います。</p>

<p>10</p> <p>外国人への取り組みについて 警察では日ごろから外国人に対する様々な取り組みをされていると思いますが、具体的な取り組みを教えてください。 例えば、どのような情報をどのような媒体で発信されていますか（外国人向けの交通ルールや110番の利用案内のリーフレットや音声案内など）</p>	<p>○交通、刑事二課と連携して啓発活動を実施しており、日本語学校、人材派遣会社での講話、注意喚起を実施しています。 現在、HIRO学園の在学生への講話、地域安全活動への参加を呼びかけを行っています。</p> <p>○岐阜県のホームページ内に外国人用の交通安全テキスト（英語・ポルトガル語・中国語・ベトナム語）が掲載されており、その資料やDVD（日本語）を活用して、外国人に対して交通講話を行っています。</p> <p>○刑事第二課（本部国際捜査課）においては、技能実習生を受け入れている企業や団体、日本語学校等に協力を求め、外国人が集まる場に警察職員を派遣して、外国人の方々に対して犯罪の被害にあわないための防犯指導をするとともに、犯罪に関与しないように注意を呼び掛けています。</p>
<p>11</p> <p>多言語案内チラシなど 外国人から警察に感ずる相談を受けることがあります。相談者にお渡しできる多言語の案内チラシは警察署に配架されているのでしょうか もしあれば、西濃県事務所にもいただけると助かります。 運転免許証の住所変更、更新、車庫証明の手続き、交通違反後の手続きの流れ、違反点、罰金納付、家庭内（夫婦・親子）トラブル、近隣トラブルなどに関する警察の対応案内）</p>	<p>○県警が作成する「快適な市民生活を送るために」という、防犯、交通安全に関する冊子の準備があります。 言語は、ポルトガル語、中国語、ベトナム語です。西濃県事務所への配布もできますが、数に限りがあるので事前に御連絡をお願いします。</p> <p>○関係課へ問い合わせしたところ、現在、行政手続きや交通違反などご質問のあった内容の多言語案内チラシは作成していないとのことでした。可児警察署では免許証の住所変更など記載方法の多言語説明文がありましたので、当署でも窓口で利用していきたいと思います。</p> <p>○刑事第二課（本部国際捜査課）においては、広報用の資料の作成はありません。</p>
<p>12</p> <p>外国人への自転車ヘルメット、保険加入の教養要望について 今年の10月から、自転車保険の加入義務化とヘルメット着用の努力義務化が施行される所、日本人でも意識している人ばかりではないと思います。日常の交通手段が自転車である外国人においては、この条例が施行されることを知らない人が大半ではないかと思ひます。 大垣国際交流協会でも協力させていただきますので、外国人雇用企業などを通して、更なる情報発信をしていただけたらと思ひます。</p>	<p>○自転車条例に関する広報活動については、現在様々な機会を捉えて実施しているところではありますが、外国人に対する情報発信は重要なことであるので、日程等調整うえ実施したいと思ひますのでご協力いただければ幸いです。</p>

<p>13</p> <p>大垣警察署での通訳について 突然、警察署や交番に日本語が不十分な外国人が現れ、緊急を訴えているような状況時に警察官はどのように対応しているのでしょうか。 また、大垣警察署では、ポルトガル語、タガログ語、英語などの語学ができる警察官は配置されているのでしょうか。 もし配置されているのであれば、相談者に案内してもよろしいでしょうか</p>	<p>大垣警察署には、北京語、タガログ語、ロシア語、ポルトガル語、ドイツ語、ベトナム語といった言語について指定された通訳員が7名配置されています。 ただ、これら通訳員は、通常の勤務に従事しておりますので、警察署に緊急の訴えをしてきた外国人の方がいたとしても、その場で直ぐに対応できる通訳員が勤務しているとは限りませんし、言語の種類によっては対応できる通訳員がないという場合も考えられますので、そのような場合には、当該事案の緊急性や必要性を十分に検討したうえで、当署もしくは他の所属から通訳員を呼び出す等の対応をとることになります。その他、必要に応じて民間の通訳員に対応をお願いすることもあります。 緊急の事案に対応しないというわけではなく、状況に応じて、日本語を話せる方であったり、警察の指定通訳員と電話で話しながら事情を聴く等、臨機応変に対応します。 また、地域警察官等が職務上使用する通信端末には、13種の言語に関して音声による翻訳に対応できるアプリが登録され、さらに、その13種を含む29種の言語に関してテキスト翻訳や定型文翻訳に対応できる翻訳アプリも登録されており、業務において活用されています。</p>
<p>14</p> <p>外国人に理解しやすい日本語資料作りについて 外国人への取り組みについて（警察から市民に出される応報などについて） 文書が硬く日本語がある程度わかる外国の方にとっても理解しにくいものが多いようです。 災害下の外国人住民に適切な情報を伝えるツールとして「やさしい日本語」（わかりやすい日本語）があります。 現在、多様な国からの外国人が増え、翻訳文書も対応しきれないと思います。その一つとして「やさしい日本語版」も作られてはどうかと思います。 また、フォントもユニバーサルデザインフォントが、わかりやすいと言われています。 「やさしい日本語」と「UDデジタルフォント」での広報紙は、多様な社会のなかでの「やさしい」取り組みだと思えます。</p>	<p>○現在対応するものではありません。今後の資料作りを検討します。 ○交通安全広報活動に使用するチラシについては、イラストなども活用し、多くの方に理解してもらえるようにしていきたいと思えます。</p>